

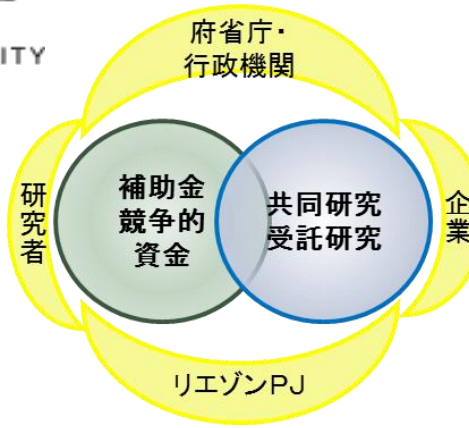


青山学院大学

AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY



青山学院大学 リエゾンプロジェクト



新製品
新事業
新サービス

研究推進課/リエゾン プロジェクト支援内容

産学官連携推進	プロジェクト推進	地域連携推進
<ul style="list-style-type: none"> ■外部資金獲得支援 <ul style="list-style-type: none"> —お一人おひとりの先生に対して、研究分野・フェーズに合致した、適切な公募情報のご提供 —申請書でURAが記載に適した項目があれば分担 	<ul style="list-style-type: none"> ■プロジェクトマネジメント <ul style="list-style-type: none"> —採択されたプロジェクト事務局としてサポートを実行 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域ネットワーク活動推進支援 <ul style="list-style-type: none"> —神奈川県立産業技術総合研究所 —神奈川産業振興センター —株式会社ケイエスピー —相模原市産業振興財団 —TAMA協会 —南西フォーラム
<ul style="list-style-type: none"> ■シーズの用途開発 <ul style="list-style-type: none"> —研究室が有する技術シーズの用途開発を研究室と共に模索し、企業へ提案 	<ul style="list-style-type: none"> ■予算管理・執行 <ul style="list-style-type: none"> —プロジェクト毎に定められた規定に従い、予算管理を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域助成制度活用 <ul style="list-style-type: none"> —地域行政、財団等の助成金探索、情報提供
<ul style="list-style-type: none"> ■企業ニーズとのマッチング <ul style="list-style-type: none"> —企業研究者と研究室とのマッチングの場(JST新技術説明会やイノベーションジャパン出展等)をプロデュース 	<ul style="list-style-type: none"> ■申請説明会の開催 <ul style="list-style-type: none"> —科研費申請に係る説明会の企画・開催 —制度変更があった際のポイントをご案内 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域企業との交流イベント <ul style="list-style-type: none"> —科学技術フォーラム —機器分析センター

■支援の流れ■

TEL

(内線)42098
(外線)042(759)6056

メール

agu-liaison@aoyamagakuin.jp

居室

B棟2F 研究推進課



即時、活動開始させていただきます！！

■担当URA■

馬場 裕二

コンサルティング会社プランナー、北陸先端科学技術大学院大学 東京サテライトMOTコース設立、JST科学技術振興機構 STARTプロジェクト(ベンチャー創出PJ)事務局を経て、17年7月より青山学院リエゾンプロジェクトURAとして活動開始。

※大学と秘密保持契約を締結し、URA業務に専任しています。



《研究室訪問/インタビューを起点とした研究費獲得支援活動》

☆本リエゾンプロジェクトはこのインタビューが重要なポイント(起点)となります。

☆特に、若手の先生方は今後のキャリア形成に向けリエゾンプロジェクトを積極的に活用ください。

URAが研究室訪問させていただき インタビューを実施します

- 一押しの研究テーマ
 - 研究内容
 - 研究ステージ
 - 特許戦略の意志
- 等々を確認させていただきます

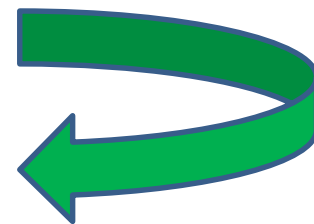
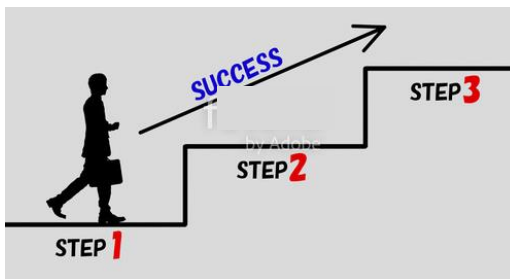
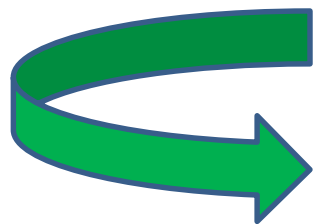


先生のご要望に合致した助成金
情報を探索・ご提供

- ・国/JST/NEDO
- ・地方行政機関
- ・民間財団

.....

先生とURAが協調しての申請書作成・ブラッシュアップ作業



- 競争的資金の獲得⇒何故、駄目だったのか事務局への確認
⇒次のSTEPの申請への挑戦
- 成果のPR⇒シーズ発表会、展示会への出展
- 企業とのマッチング⇒受託研究/共同研究



既にターゲットとなる申請
イメージをお持ちの先生



XXXX万円規模程度の実用
化を目指した企業と共同の
助成金に申請したい！！



リエゾンプロジェクト(URA)が
最適な補助金情報を探索